

5

粕屋町 『布芝居絵本 かすやのむかしばなし』 布で遊ぶおひさまの会・粕屋町立図書館／制作



粕屋町および周辺地域に伝わる昔話を題材に、図書館ボランティア「布で遊ぶおひさまの会」が製作した布芝居作品6点をまとめ、粕屋町立図書館開館20周年記念として出版した絵本です。一部の作品は図書館イベント「一針体験」として、来館者の皆さんにも製作に参加してもらっています。楽しくふるさとのことが学べる一冊です。

手作りの暖かさが紙面からも伝わってきます。郷土の偉人・長卵平が題材の布芝居は授業でも活用されています。



住所
糟屋郡粕屋町若宮1丁目1番1号
開館時間
午前10時～午後6時
(※金曜日のみ午前10時～午後7時)
休館日
毎週月曜日、毎月最終木曜日
問い合わせ先
粕屋町立図書館
☎092-939-4646
▲粕屋町立図書館ホームページ

▲粕屋町立図書館 山内

6

篠栗町 『南の館の物語』 前野りりえ／作、竹崎陽子／絵



平安時代前期。藤原時平の陰謀により、無実の罪をさせられ、太宰府に左遷された菅原道真。この本では、道真の娘・紅姫の視点から太宰府での苦しい生活が描かれています。この紅姫の名前が付いた『紅姫稲荷社』が篠栗町にあることを知っていますか？本を読んだ後、神社を訪れてみたくなる1冊です。

悲しくも美しい物語の絵本です。ぜひ手に取ってみてください。



住所
糟屋郡篠栗町中央1丁目9番1号
開館時間
午前10時～午後6時
(※金曜日のみ午前10時～午後8時)
休館日
毎週月曜日、毎月最終木曜日
問い合わせ先
篠栗町立図書館
☎092-948-3333
▲篠栗町立図書館ホームページ

▲社会教育課 図書館担当 上田

7

志免町 『日本の石炭産業遺産』 徳永博文／著



13年間にわたり調査した全国の炭鉱遺産の記録を掲載されたそうです。何度も現地を訪れ、多くの資料を研究し、執筆。わが国の近代化の軌跡に触れることができる内容で、志免町が誇る国の重要文化財「旧志免鉱業所竪坑櫓」も登場します。志免町の人だけでなく、たくさんの人に読んでほしい一冊です。

この本、私が執筆しました。



住所
糟屋郡志免町志免中央1丁目3番1号
町民ふれあいセンター3階
開館時間
午前10時～午後6時
休館日
毎週月曜日(第4月曜日を除く)、毎月最終水曜日
問い合わせ先
志免町立町民図書館
☎092-935-1007
▲志免町立町民図書館ホームページ

▲社会教育課 徳永

8

須恵町 『山里の田舎なれども 田原家文書に見る筑前上須恵の繁栄と暮らし』 樋脇由利子／著



江戸時代、須恵町には有名な眼病診療所があり、その門前には治療を求めている人々のためにたくさんの民宿があり、栄えていました。診療所の傍ら製薬業を営んできた庄屋 田原家に残されていたたくさんの古文書をその子孫である作者が読み解き、一冊の本にまとめています。当時の須恵町の暮らしが偲ばれる一冊です。

この他にもおすすめしたい本がたくさんあります。皆さんのご来館をお待ちしています。



住所
糟屋郡須恵町上須恵1167番地1
開館時間
午前10時～午後6時
休館日
毎週月曜日、毎月最終木曜日
問い合わせ先
須恵町立図書館
☎092-932-6364
▲須恵町立図書館ホームページ

▲須恵町立図書館 三丸

9

宇美町 『君を忘れる朝がくる。五人の宿泊客と無愛想な支配人』 山口幸三郎／著



宇美町出身の山口幸三郎先生が書かれたこの本は、一晩眠ると消したい記憶だけが消える不思議な部屋のあるペンション「レテ」に泊まる5人の宿泊客と無愛想な支配人の物語です。他にも松坂桃李さん主演でドラマ化された「日暮旅人シリーズ」など過去の作品から最新作まで取り揃えています。

山口先生から寄贈いただいた「山口幸三郎文庫」も館内にあります。



住所
糟屋郡宇美町平和1丁目1番2号
うみ・みらい館
開館時間
午前10時～午後7時
休館日
毎週月曜日、毎月第4木曜日
問い合わせ先
宇美町立図書館
☎092-932-0600
▲宇美町立図書館ホームページ

▲宇美町立図書館 井上

2市7町が
おすすめする

わたしのまちの一冊

この企画では、2市7町の図書館司書などが、各市町出身の作家や市町にゆかりのある本を紹介します。各市町の魅力がたくさん詰まった一冊、ぜひ読んでみてください。福津市民ならどの図書館でも広域利用できます。詳しくは各図書館にお問い合わせください。

1

福津市 『usao漫画』 usao／著



漫画？図書館なのに？と思われる人…ただの漫画ではありません。ズバリ「癒しの本」です。福津市内の小学校で先生をしていたusaoさんの本は、言葉がなくても絵だけで心に寄り添い、読み終わると癒され、優しい気持ちになります。著者曰く「大切な人を助けたくて、元気をあげたくて」絵を描かれてきたそうです。この時期この時代に必要とされる「心の栄養」の本です。

usaoさんのおかげで私も癒されています。感謝しかありません。皆さんもぜひ！



住所
福津市中央1丁目1番2号
開館時間
午前10時～午後6時
休館日
毎週月曜日、毎月最終木曜日
問い合わせ先
福津市立図書館
☎0940-42-8000
▲福津市立図書館ホームページ

▲福津市立図書館 大村

2

古賀市 『豪華な馬具と朝鮮半島との交流 船原古墳』 甲斐孝司・岩橋由季／著



古賀市の宝、国史跡船原古墳を紹介した本です。前方後円墳脇の土坑に埋まっていた豪華な馬具を、市と九州歴史資料館がタッグを組み調査した軌跡。三次元計測・X線CTなどの最新のデジタル技術を駆使し、当時の姿と輝きを復元していく様子などが書かれています。Deepな古賀を新発見してください。

市職員が執筆した生粋の古賀本は、図書館マスコット「ことちゃん」のイチ押し！



▲古賀市立図書館 ことちゃん

住所
古賀市中央2丁目13番1号
開館時間
午前10時～午後6時
休館日
毎週月曜日、毎月第4木曜日
問い合わせ先
古賀市立図書館
☎092-942-2561
▲古賀市立図書館ホームページ

3

新宮町 『幻年時代』 坂口恭平／著



1978年生まれの著者は9歳まで、新宮町で育ちました。新宮西幼稚園や新宮小学校、電電公社の社宅や敷地のプール、松林などが登場する自伝的小説です。母親が「あなたは〇〇で拾ってきたの」とよく言っていたそうです。幼い頃に転居をすると、当時のことを幻のように感じることもあるかと思いますが、そのうつろな記憶がよみがえる本です。

〇〇は新宮町民には懐かしいお店です。さて、何でしょう？読んでみてのお楽しみ！



住所
糟屋郡新宮町新宮東2丁目5番1号
シーオーレ新宮2階
開館時間
午前10時～午後6時
休館日
毎週月曜日、毎月最終水曜日
問い合わせ先
新宮町立図書館
☎092-962-5500
▲新宮町立図書館ホームページ

▲新宮町立図書館 豊永

4

久山町 『わたしたちの首羅山ものがたり～薩摩塔がおしえてくれたこと～』 久山町立久原小学校・山田小学校／制作



ぼくたちが国史跡首羅山遺跡にいくと薩摩塔が山の歴史をしゃべりだした！山の名前にかくされた歴史とは!? 久山町のシンボルである首羅山遺跡について、久山の子どもたちが協力して創作した物語絵本です。

久山町の小学校では毎年、町に関する絵本の作成をしています。他にも数冊あるのでぜひ読みに来てください。



▲久山町民図書館 大浪

住所
糟屋郡久山町久原2603番地1
開館時間
午前10時～午後6時
休館日
毎週月曜日、毎月第4木曜日
問い合わせ先
久山町民図書館
☎092-976-2444
▲久山町民図書館ホームページ